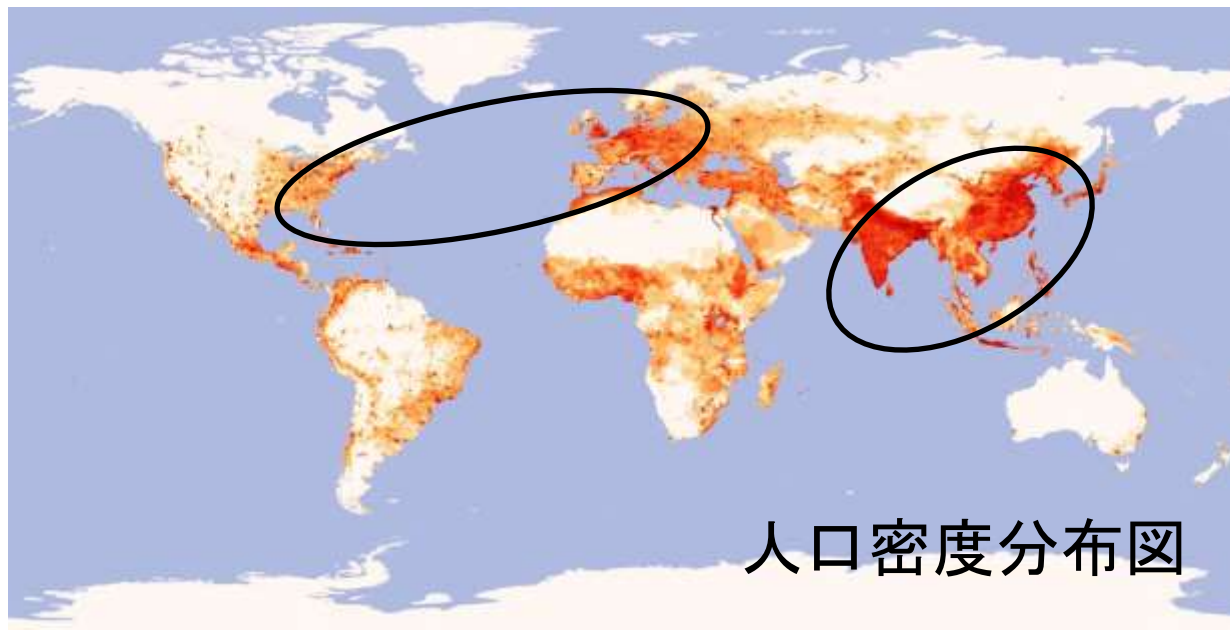




世界の人口と人口問題

1 世界人口のばらつき(偏在)

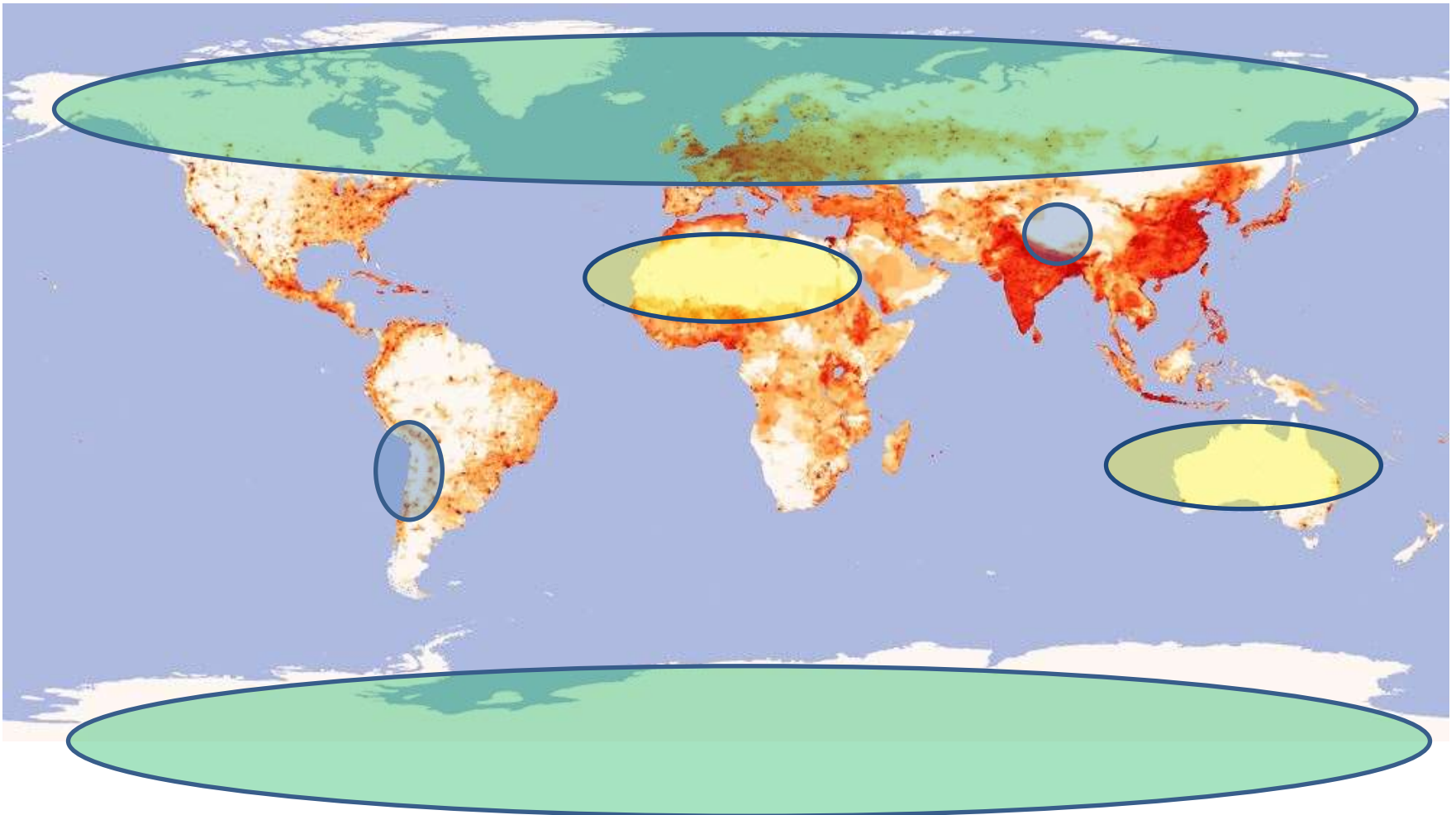
(1) 人間の居住地域(**エクメーネ**)



- ・ モンスーンアジア …伝統的稲作地域、部分的に工業発達
- ・ ヨーロッパ中央、北アメリカ北東部 …産業革命後、著しい経済発展
- ・ 地中海地域 …古代に都市文明

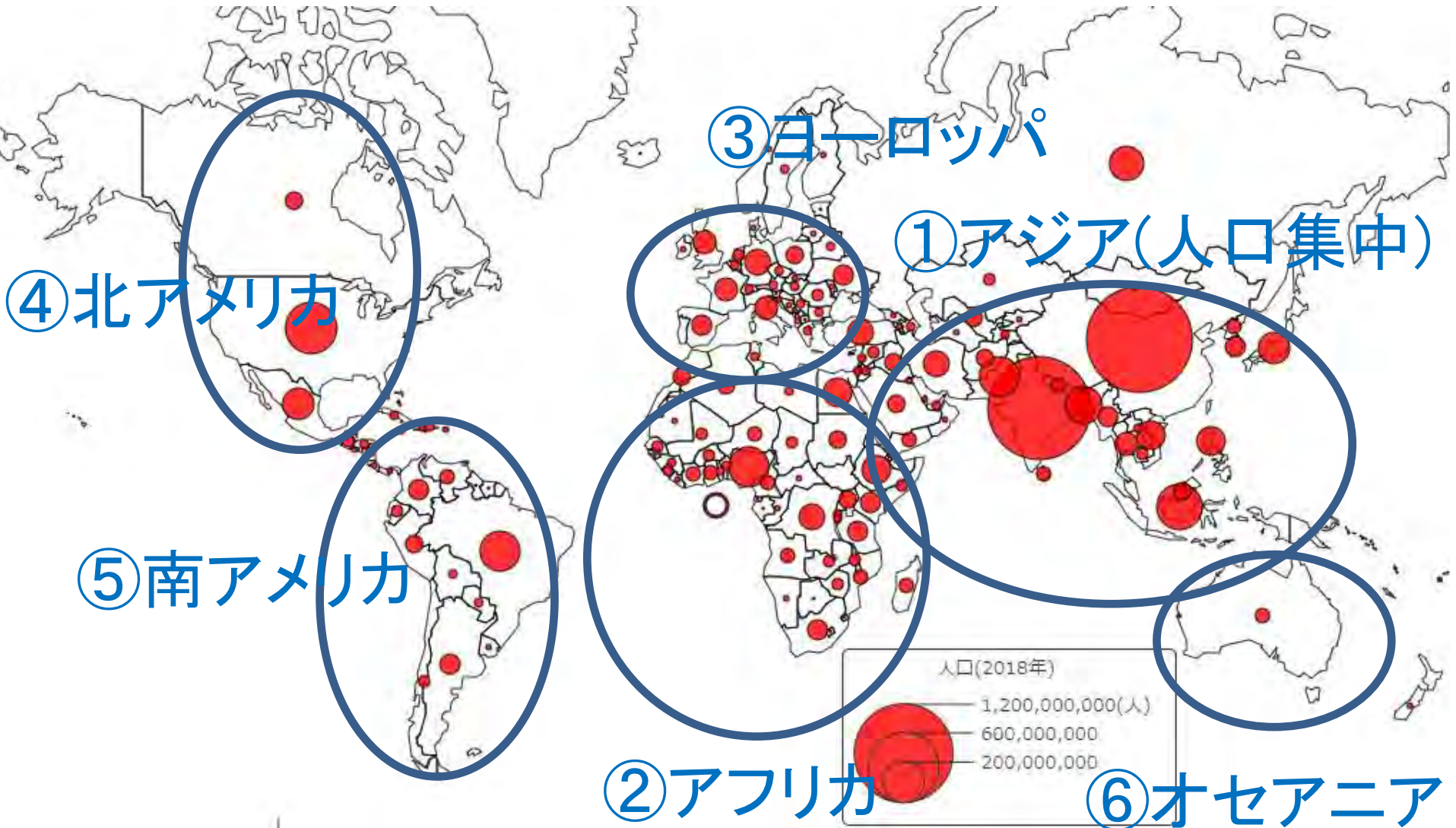
(2)人間の非居住地域(アネクメーネ)

➡ 乾燥地域・高山地域・極地 など

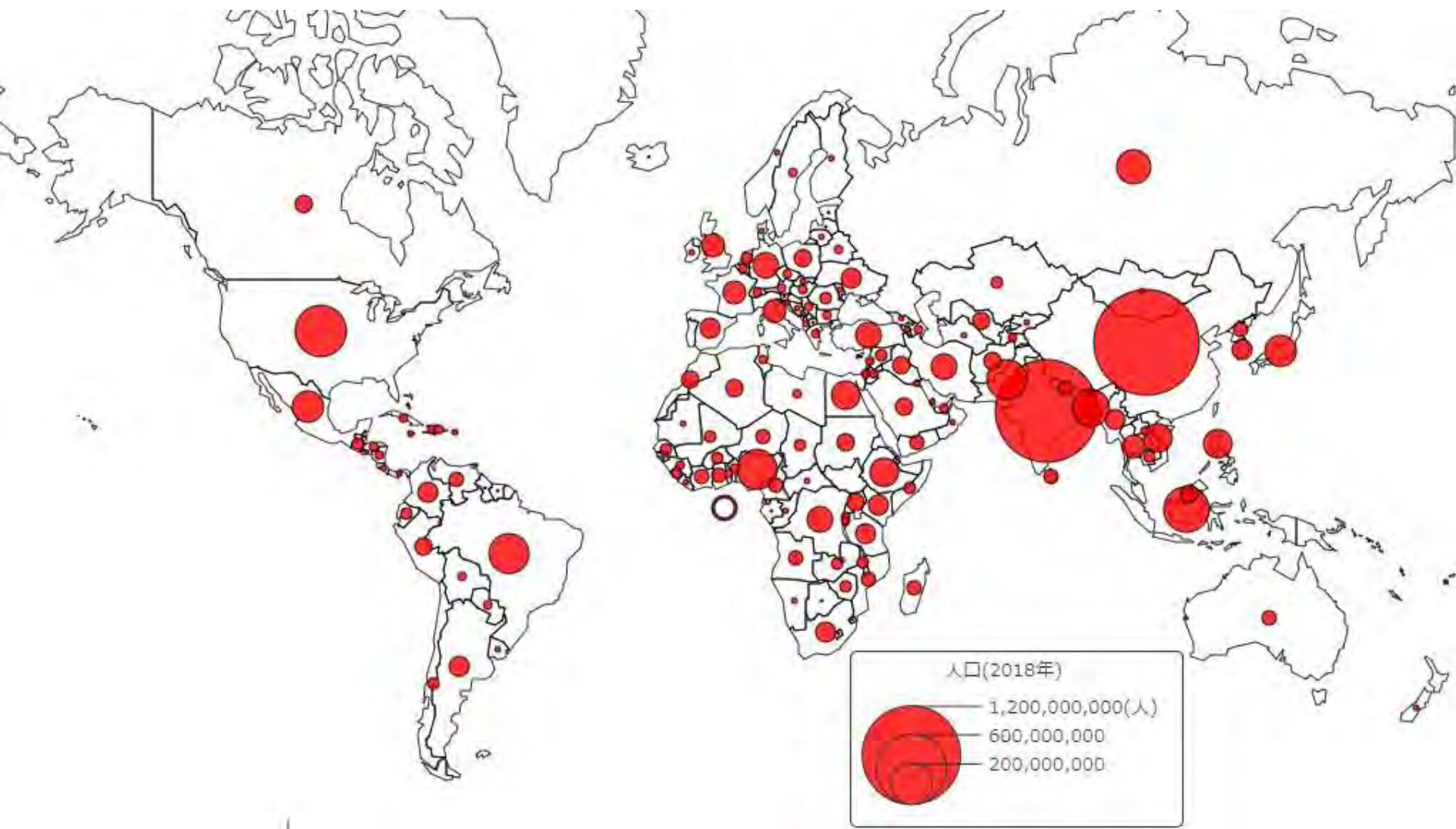


2 世界の地域別・国別の人口

(1) 地域別人口分布



(2) 国別人口分布



人口上位国(2018年)

	国名	人口(2018年)(億人)
1	中華人民共和国	13.9
2	インド	13.5
3	アメリカ合衆国	3.3
4	インドネシア	2.7
5	パキスタン	2.1
6	ブラジル	2.1
7	ナイジェリア	2.0
8	バングラデシュ	1.6
9	ロシア	1.4
10	日本	1.3

(3) 地域・国ごとの人口密度分布 (2018年)

① 人間が密集している地域

・・・アジア, ヨーロッパ中央部の国



②とくに人間が密集している国

■人口密度(1km²あたり)の大きい国(2018年)

【 **バングラデシュ** 】1240人

韓国 530人

オランダ 511人

インド 455人

ベルギー 377人

日本 347人



■人口密度の小さい国(2~4人)

カナダ(4人)

【 **モンゴル** 】(2人)

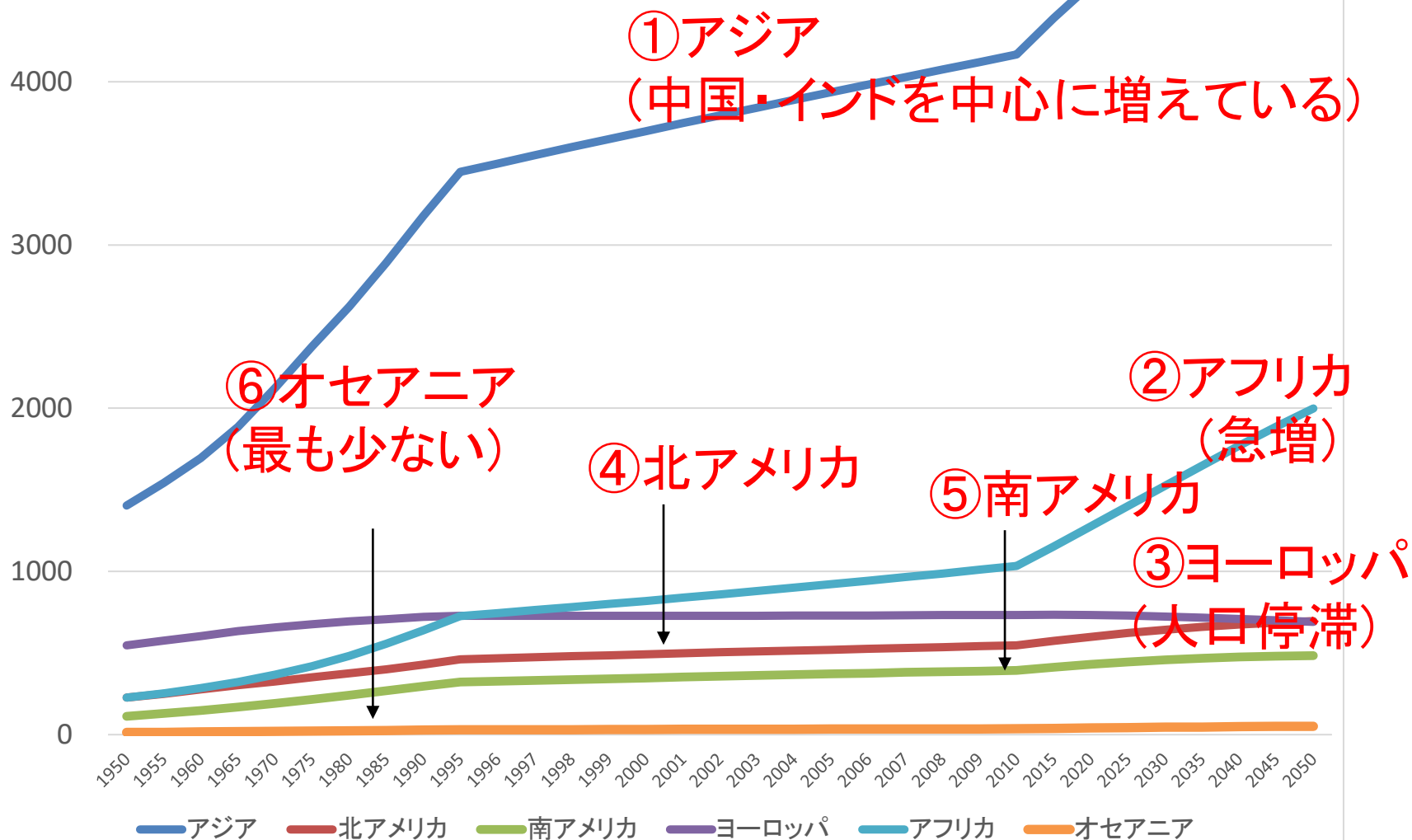
オーストラリア(3.6人)

ナミビア(3人)など

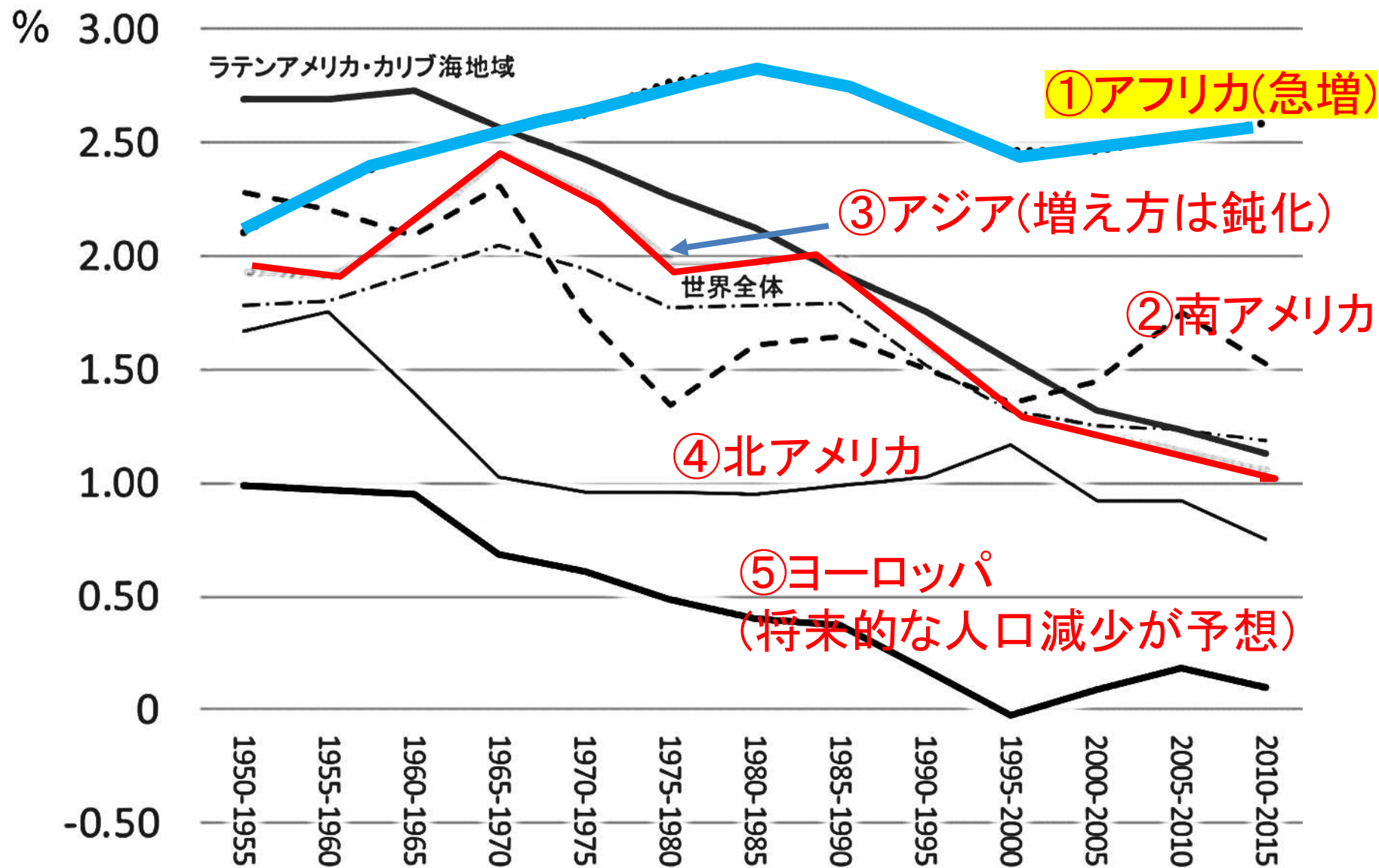


3 地域別の人口増減傾向

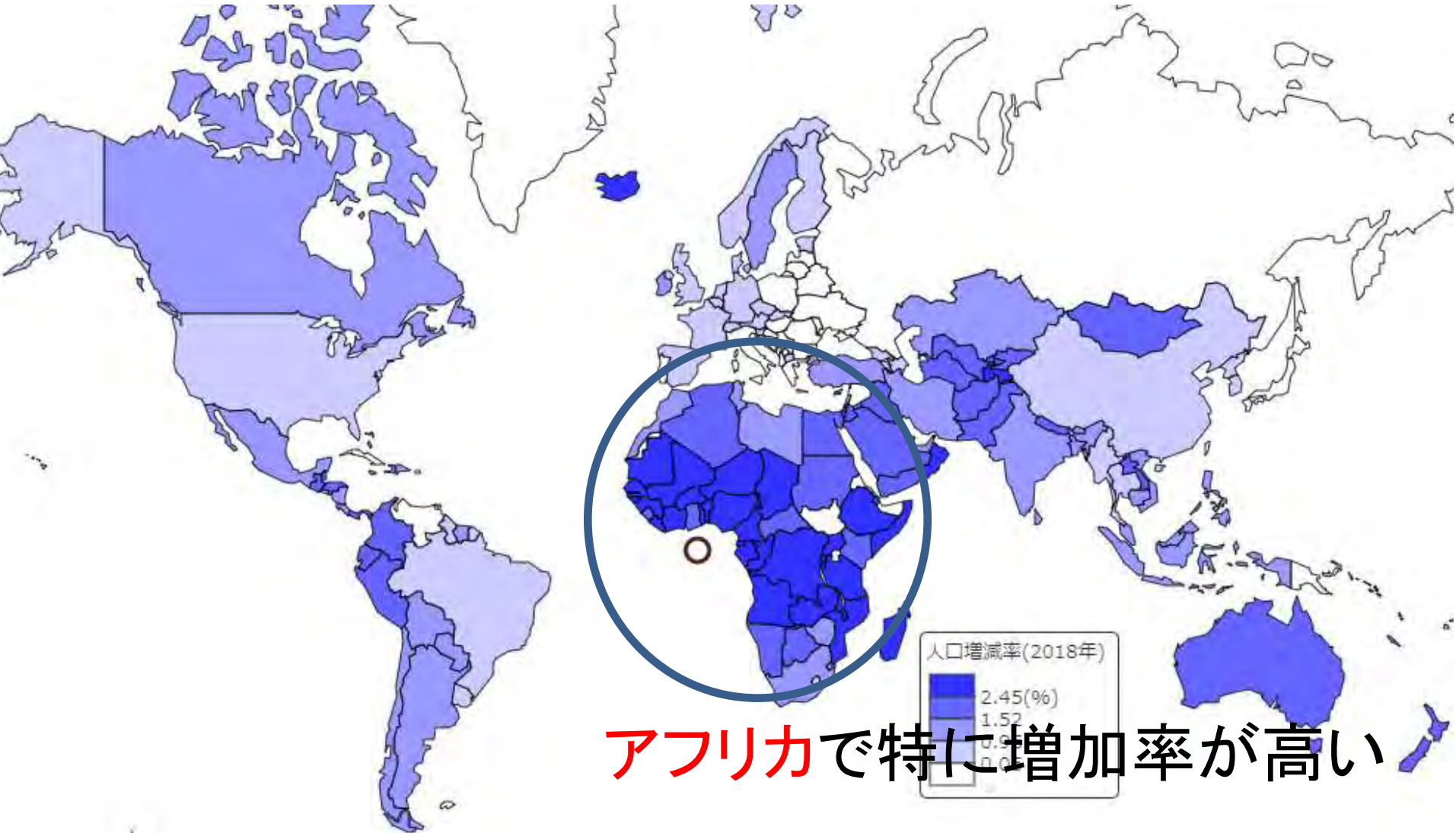
(1) 1950年からの地域別人口(絶対数)の推移



(2) 1950年からの地域別人口増加率の推移



(3)現在の国別人口増加率



アフリカで特に増加率が高い

3 人口問題

(1) 人口問題とは

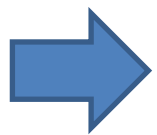
- ・・・急激に人口増減のバランスがくずれることによって起こる
様々な問題

(2) 2つの人口問題

①戦後、先進国で **少子高齢化** が進んだ問題

②戦後、**発展途上国**で**急激な人口増加**が進んだ問題

※戦後の一時期にあった人口増加率30%(3%)以上の**人口爆発**
がきっかけ



もともと出生率が高かった発展途上国で、戦後、**医療衛生水準** の向上により**乳幼児死亡率**が下がったことが契機

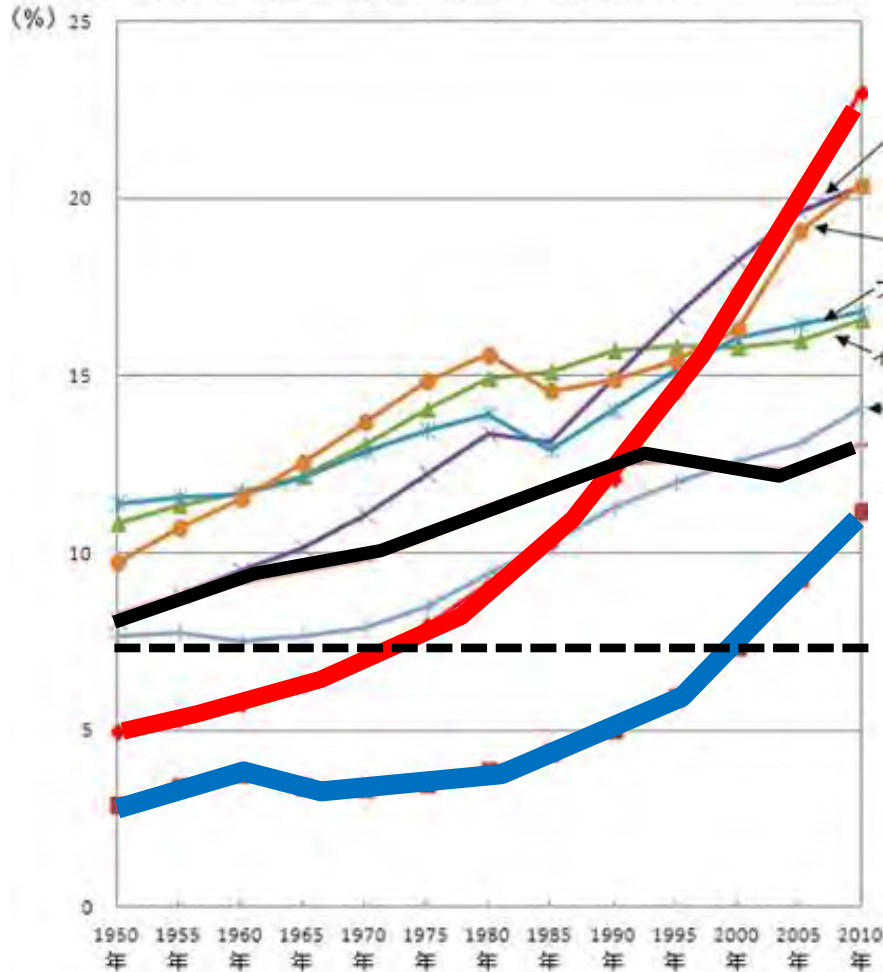


(3)先進国と新興国の人口問題・・・ 少子高齢化問題

①先進国の老年人口率の推移



65歳以上人口の割合の推移-諸外国との比較 (1950年~2010年)



日本

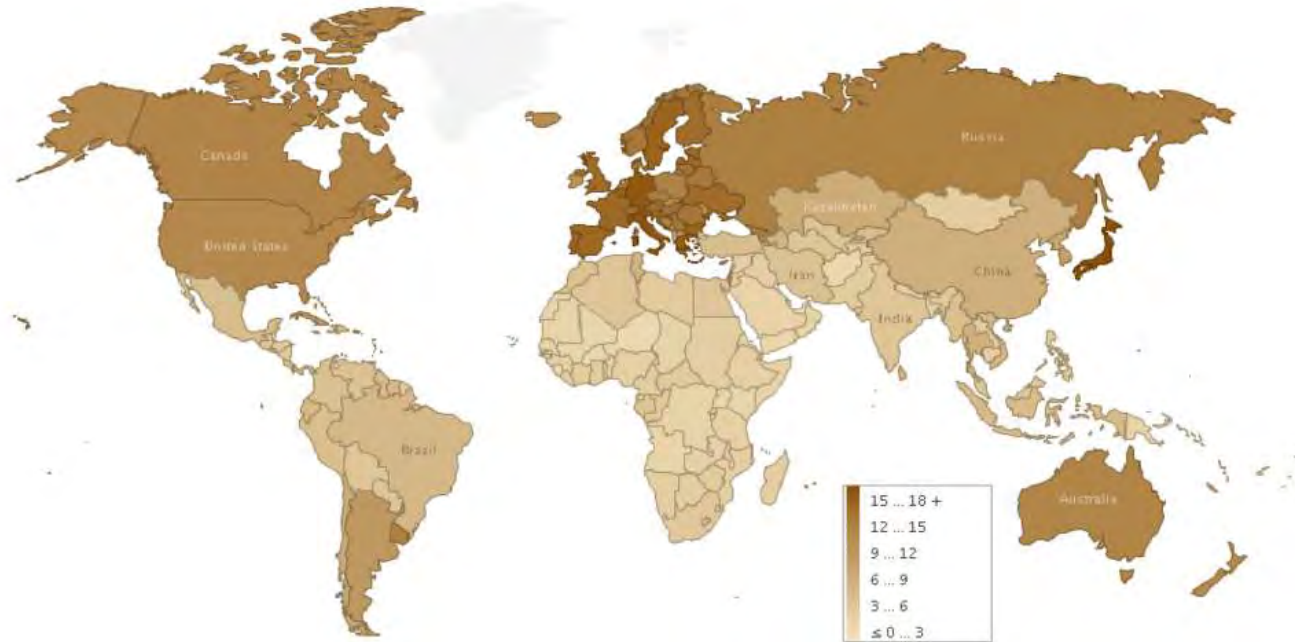
アメリカ

韓国

資料: United Nations, "World Population Prospects, The 2010 Revision"による。
ただし、日本は国勢調査の結果による。

→とくに日本の高齢者人口率の伸びは 顕著(25%)

②日本の高齢化のレベルは？



• **高齢化社会**

高齢化率7 - 14%

• **高齢社会**

高齢化率14 - 21%

• **超高齢社会**

高齢化率21% -

③先進国の少子化

【少子化をみる指標】 **合計特殊出生率**

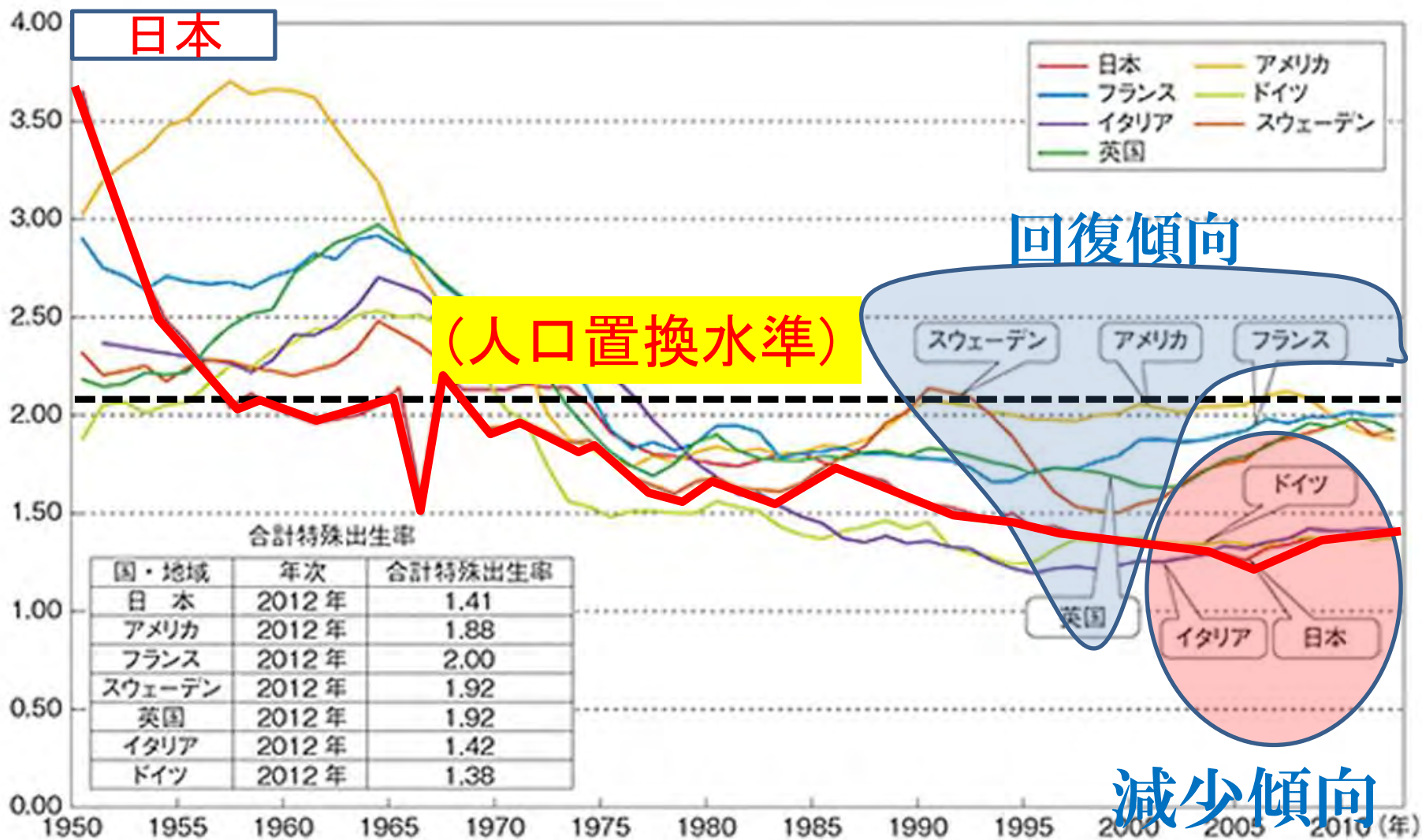
女性が一生のうちに産むとされる子供の数の平均値(単位はない)

➡ 人口再生産には **2.07** が必要とされる。

(人口置換水準)

➡ **2.07未満**だと少子化が進むという見方をする。

③ 日本と欧米先進国との少子化傾向の比較



1)減少傾向 日本・ドイツ・イタリア

➡ 特に 日本 は合計特殊出生率が低い
1.42(2015年現在)

2)回復傾向 フランス・スウェーデン・イギリス

➡ 出産・子育てと就労に関して 両立支援策
がとられているため

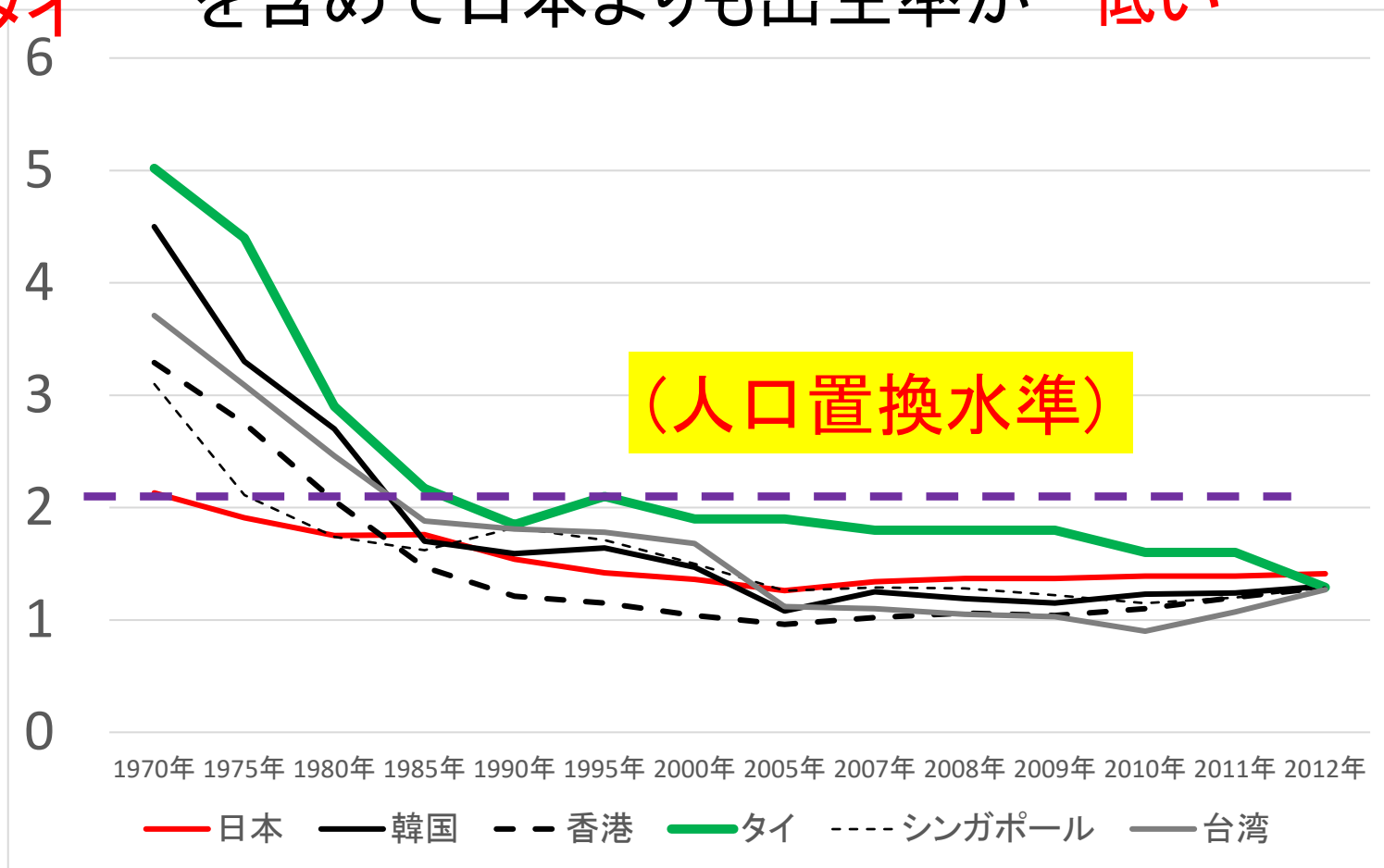
3)停滞傾向 アメリカ

➡ 流入した移民(ヒスパニック)の出生率が高い

④日本とアジア諸国との少子化傾向の比較

1970年の時点では、いずれの国も日本の水準を上回っていたが、2011年現在では**人口置換水準を下回り**

タイ を含めて日本よりも出生率が **低い**



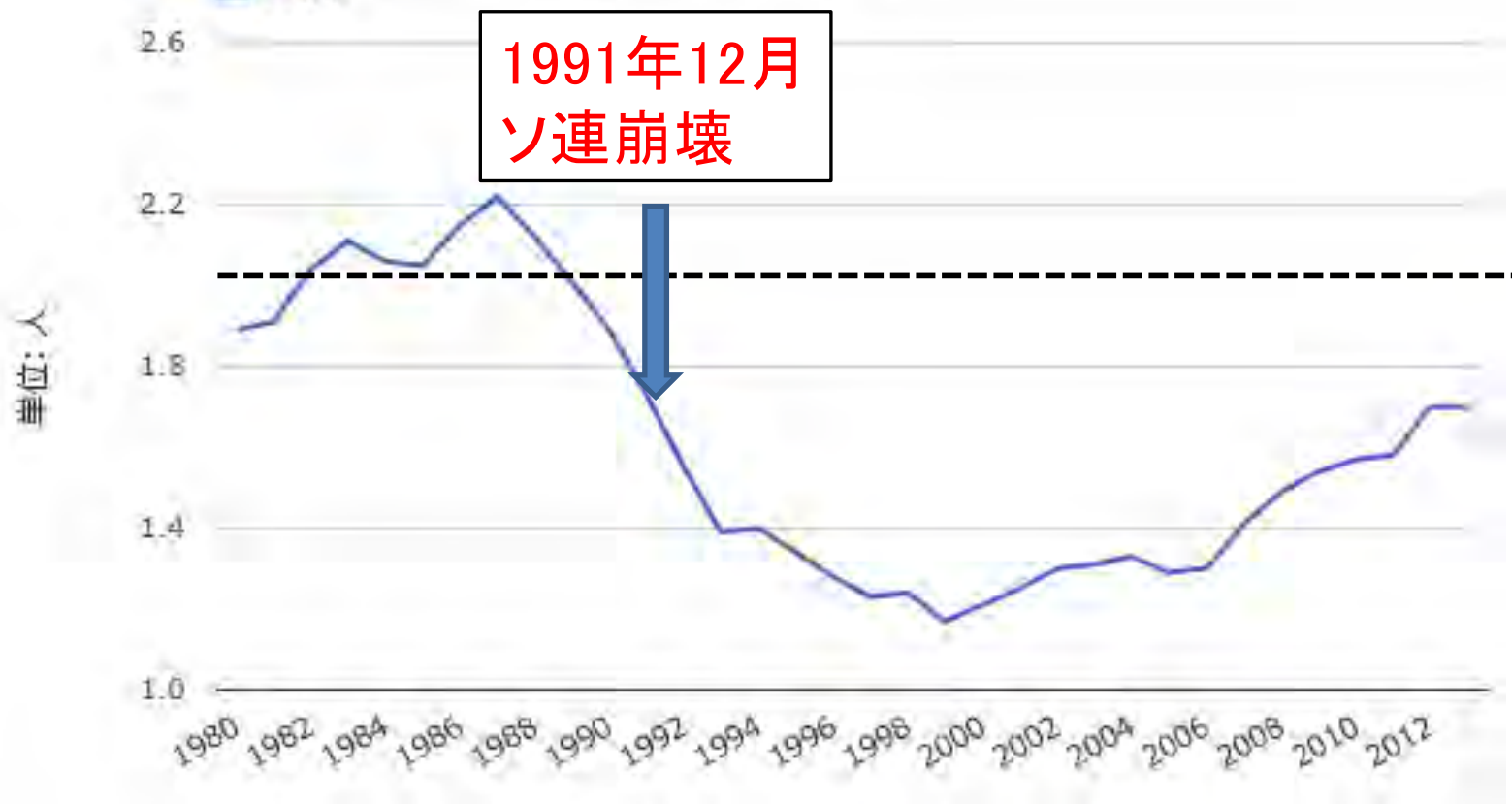
④ロシアなど旧社会主義国の少子化傾向の特殊性

■旧ソ連崩壊後

- …社会主義崩壊(**体制転換**)のストレスから(**アルコール飲酒**)が増え、死亡率が上昇し、少子化が進む。現在は経済発展が進み若干回復。

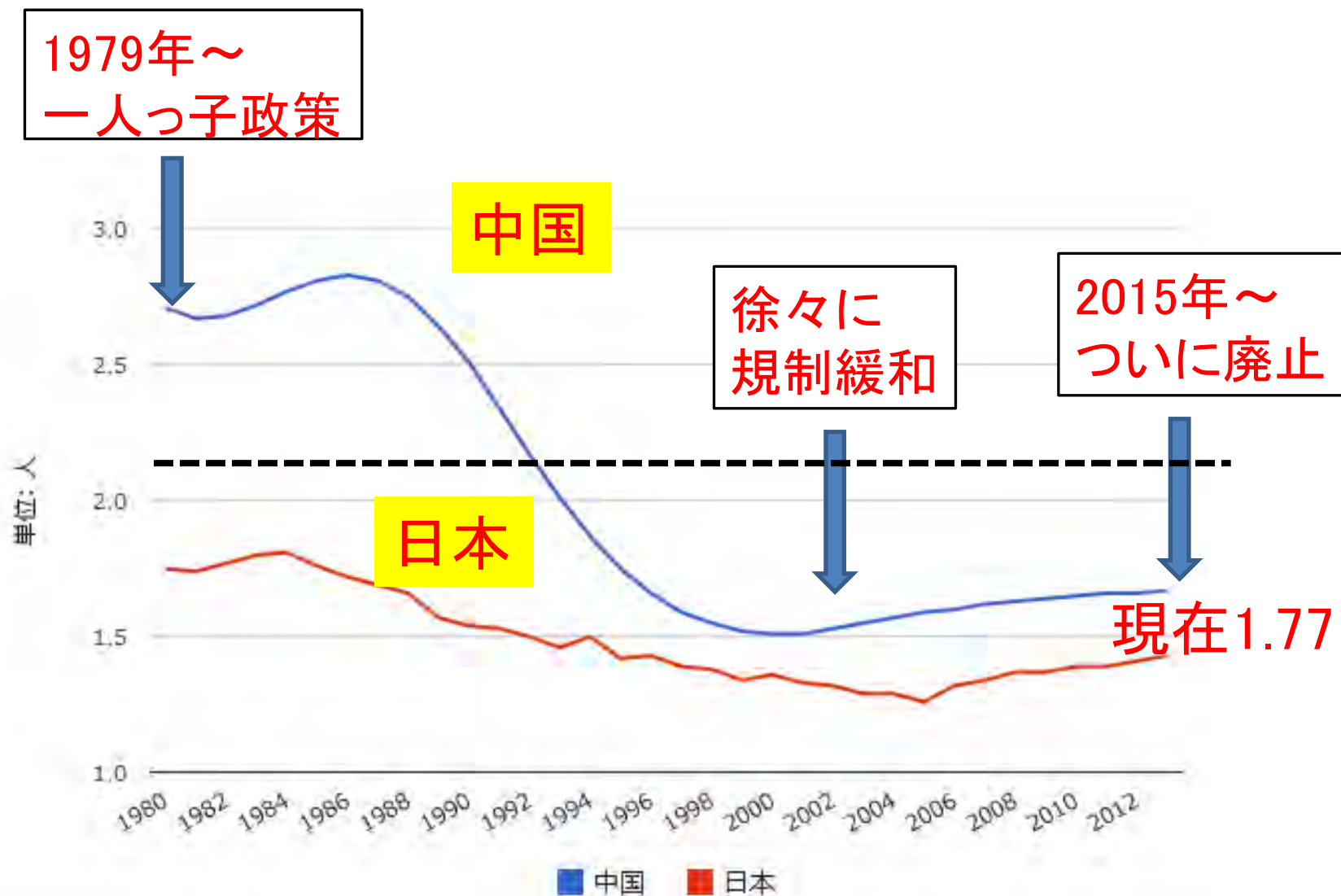
合計特殊出生率の推移(1980~2013年)

■ ロシア



⑤中国の少子化の特殊性

■ 1979年からの 一人っ子政策 により出生率が急減。
近年は若干回復。



⑥ 少子高齢化にともなう諸問題

■ 高齢者福祉を支えるための 社会保障費 の増大

➡ 生産年齢人口の負担, 国家財政への負担が増大

■ 生産年齢人口の減少による 労働力不足

➡ 外国人労働者を受け入れざるをえなくなっている

■ 人口減少による 経済規模 の縮小

➡ 社会の活力 が失われていく心配

⑦少子高齢化対策としての 両立支援 策

■男女への出産育児休業の保障

■保育施設,保育サービスの充実

■③医療・教育の負担軽減

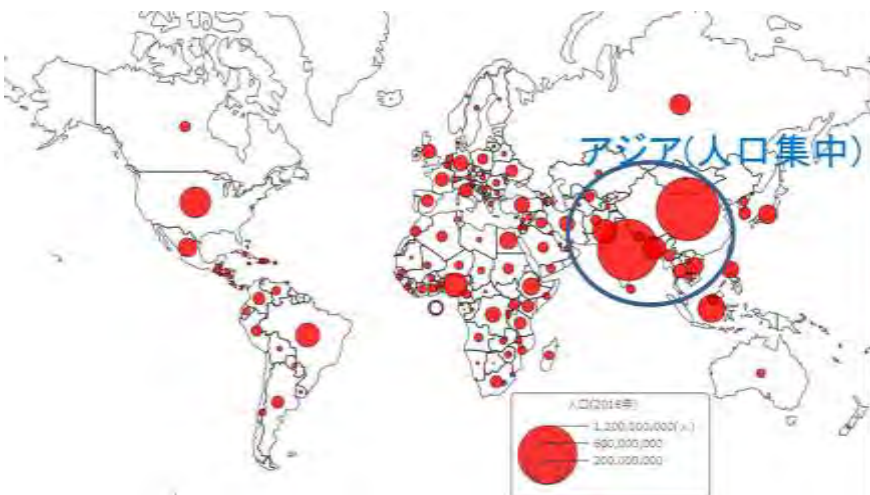
■ワークシェアリングによる労働時間の短縮や,
残業をなくすことなど

(4) 発展途上国の人口問題

① 問題が深刻化している地域

■ 人口が多いアジア地域(**インド** など)

■ 人口急増が進むアフリカ中部(**サハラ以南**)



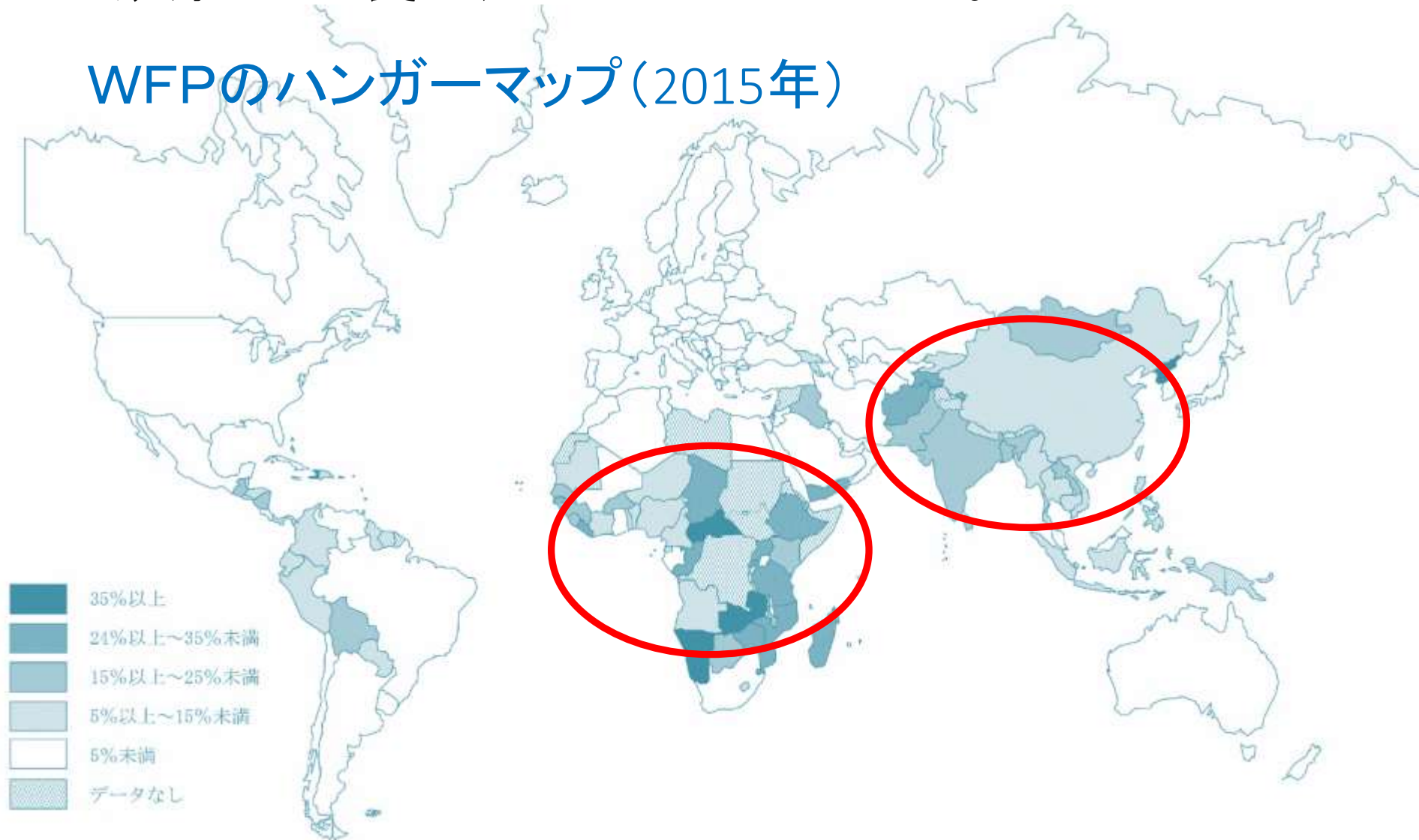
②様々な問題

■ 貧困・・・一人当たりGNI(2015年)が **少ない**。



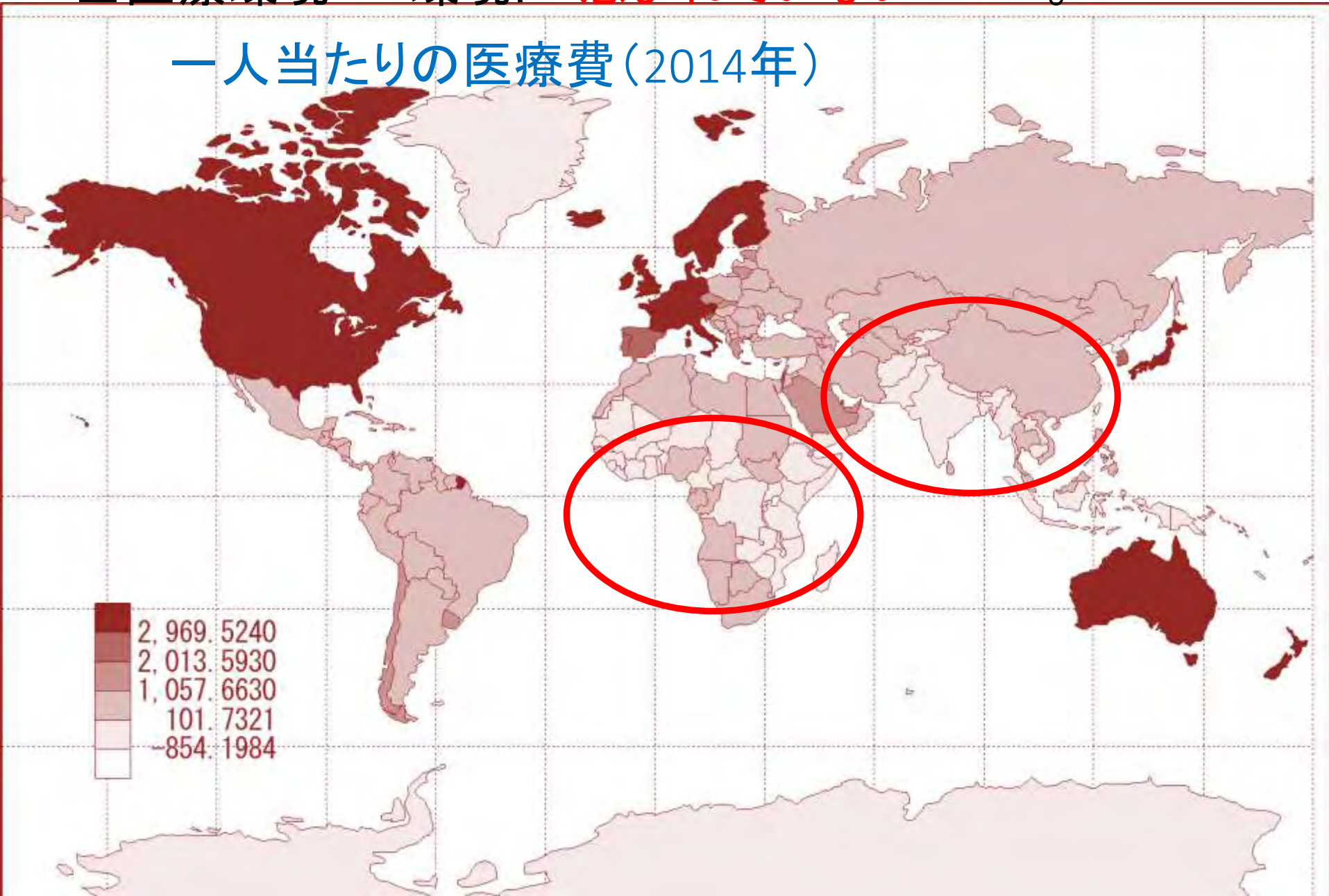
■ 飢餓・・・栄養不足人口が **多い** 。

WFPのハンガーマップ(2015年)

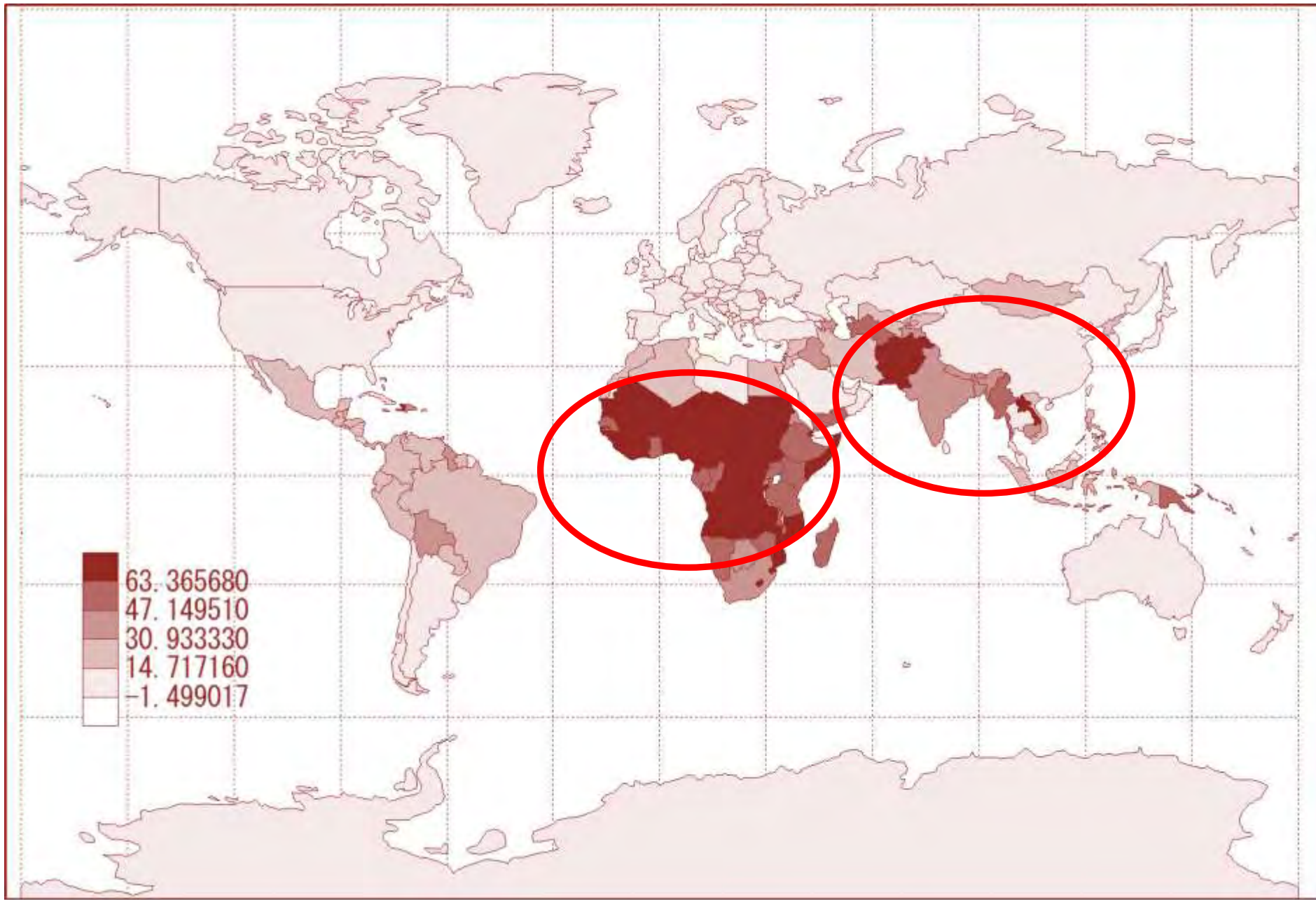


医療環境・・・環境に恵まれていない

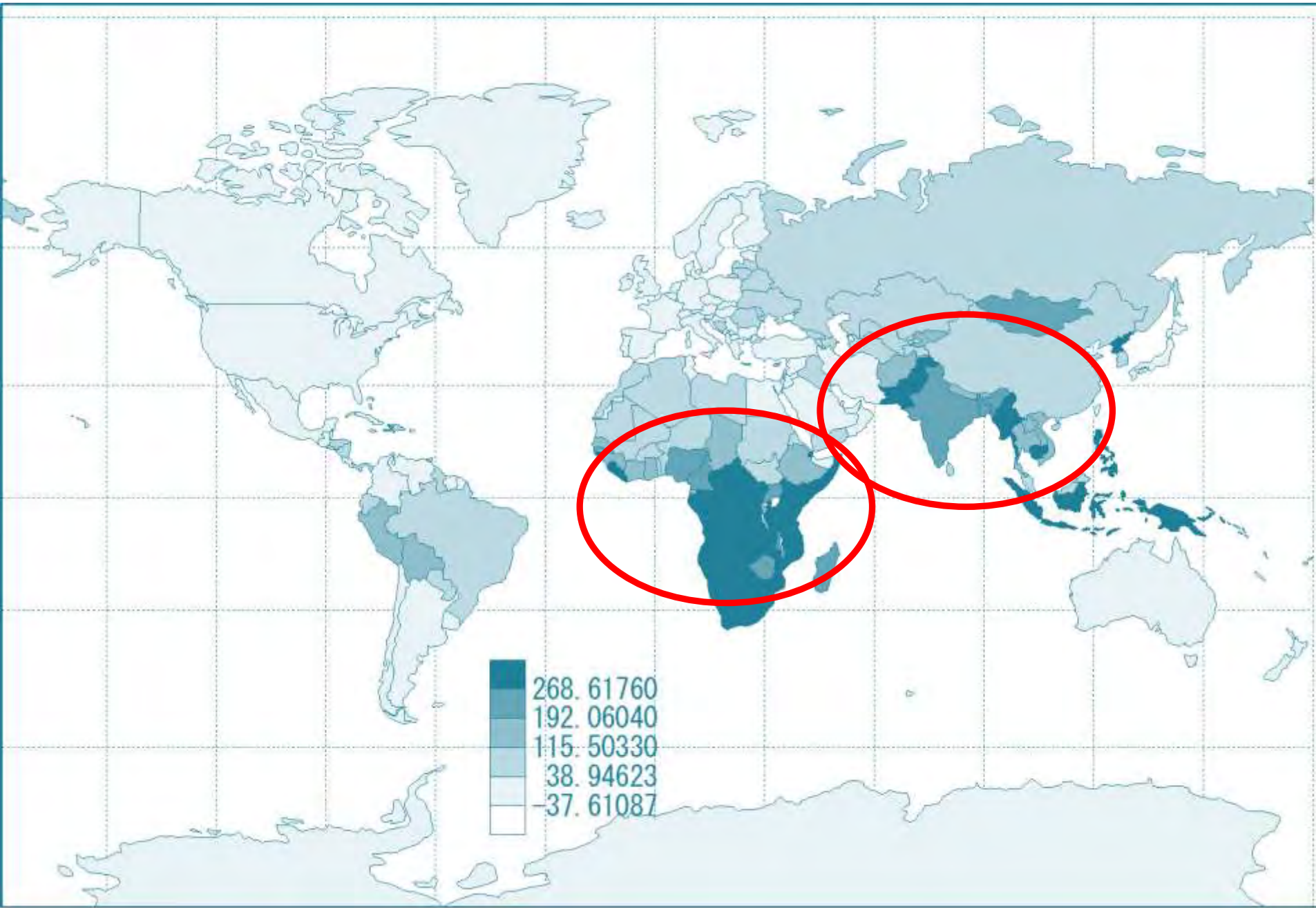
一人当たりの医療費(2014年)



■ 5歳未満の乳幼児死亡率(2015年)..... 高い

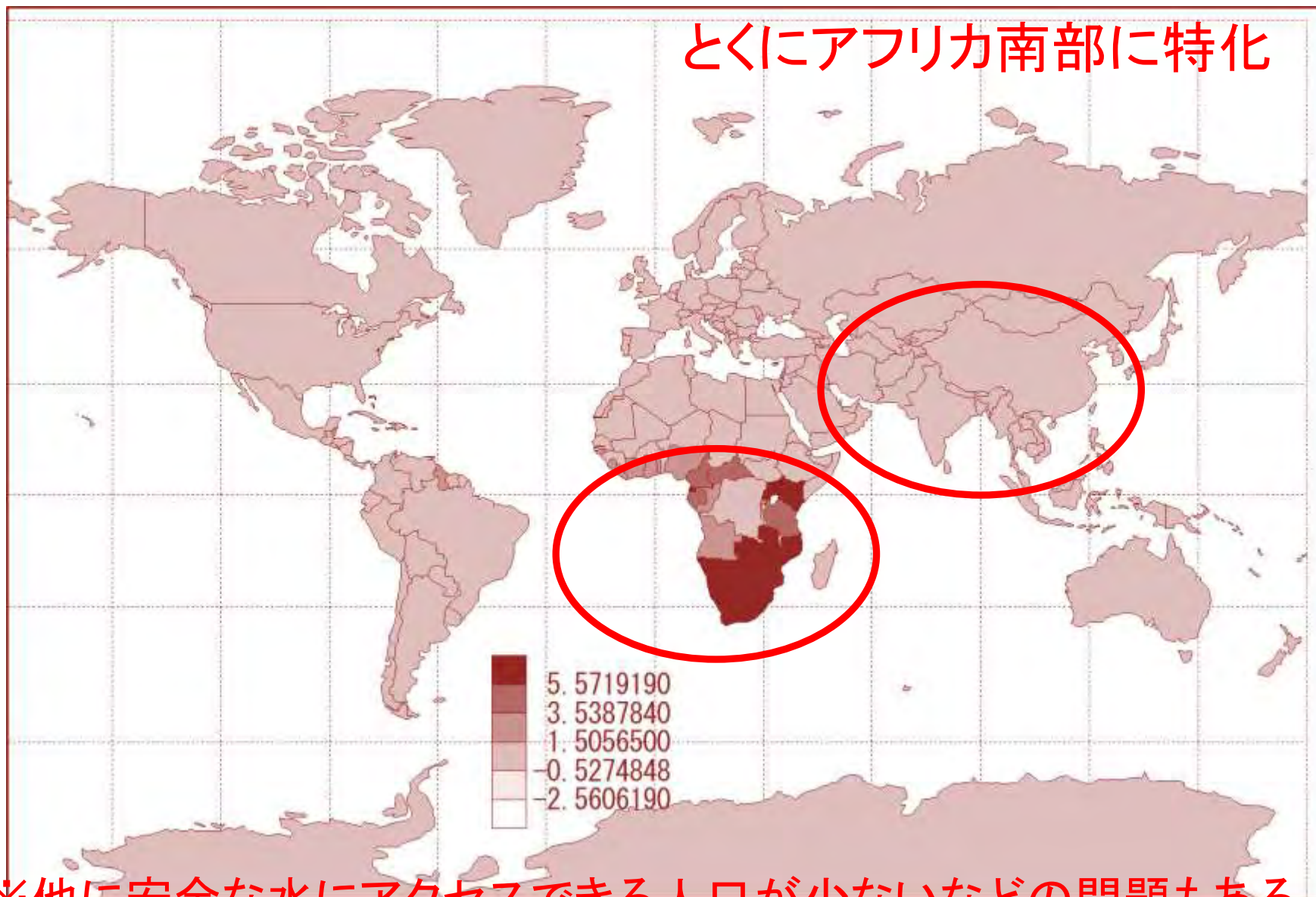


■ 10万人あたりの結核罹患率(2015年)・・・高い



■ HIV罹患率(2015年)・・・ 高い

とくにアフリカ南部に特化



※他に安全な水にアクセスできる人口が少ないなどの問題もある

③問題が長期化している背景

- 一次製品の生産・輸出に頼る モノカルチャ経済 でもともと生活水準が低い
- 政治的混乱 をかかえた国が多い
- 干ばつや洪水など 自然災害 に対して脆弱性が高い

④対策や支援

■ 農業技術支援など

・・・アフリカの ネリカ米普及事業など

■ 緊急食料援助・・・ 世界食料計画（WFP）

■ 医療施設の建設

■ 家族計画の普及

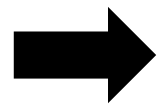


4 日本の人口問題

(1) 少子高齢化の進行

① 戦争による人口減少

② 戦後1946年～の 第一次ベビーブーム以降,人口増加



家族計画の普及、生活水準の向上、女性の社会進出

③ 2004 年人口のピーク(1億2779万人)以降,人口は急速に減少

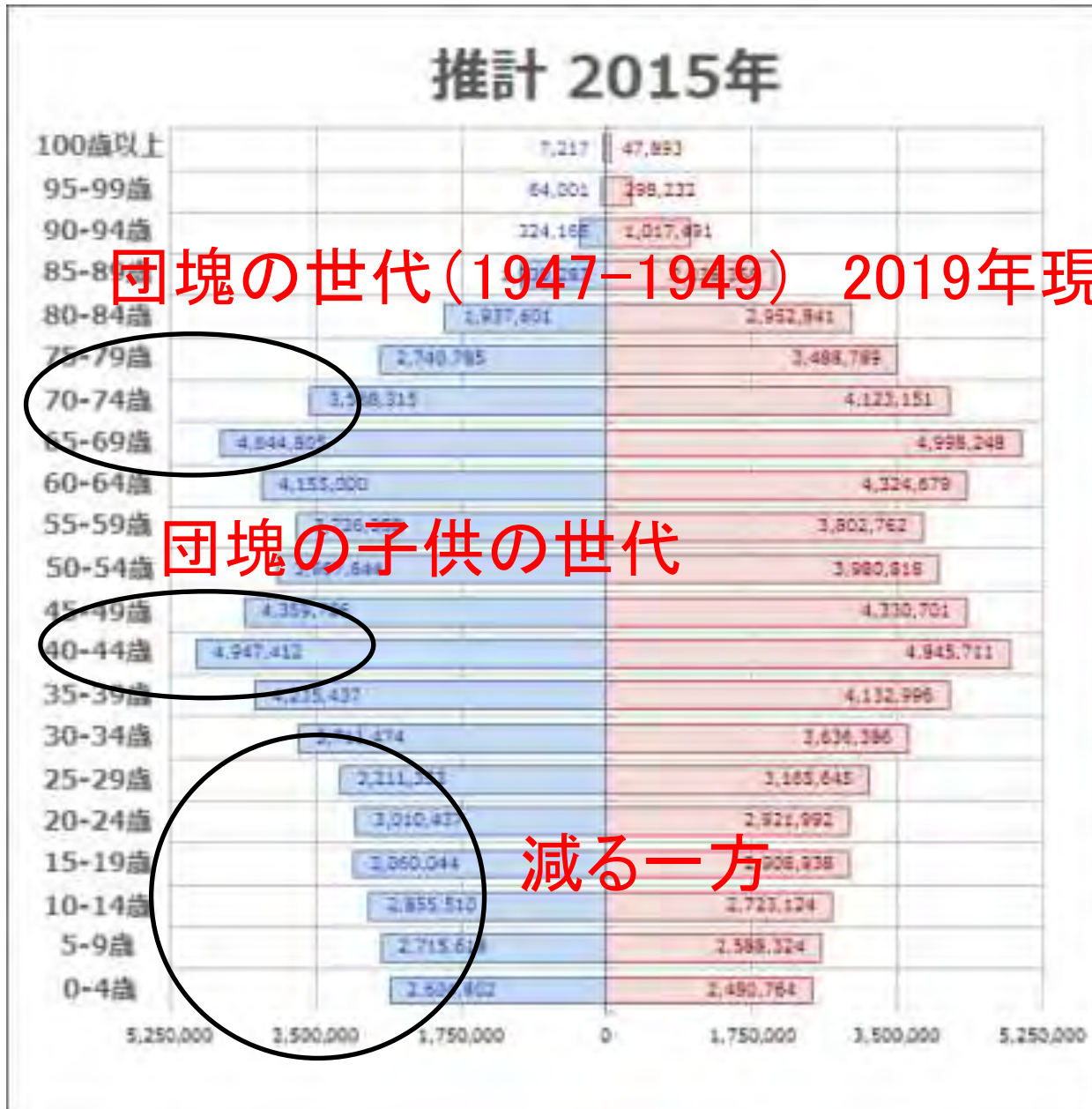
■ 合計特殊出生率が低下し,2005年に過去最低 (1.26)、2015年は1.42)

③将来予測

■2050年には人口が1億人を切る

■2040年高齢化率が30%を超え,2050年には40%前後になると言われている。

(2)現在の人口ピラミッド……少産少死の つぼ型



5 国際的な人口移動

(1)20世紀前半までの人口移動……開拓地へ

①イギリスの清教徒

 アメリカの【**ニューイングランド**】地方へ宗教的自由をもとめての移動

②イギリスの罪人

 【**オーストラリア**】へ流刑地としての移動

③アフリカのギニア湾岸

 南北アメリカ大陸への【**奴隷貿易**】の流れ

④ 華僑 . 印僑

 東南アジア, アフリカへの労働力の流れ

⑤ ヨーロッパロシア

 【 シベリア 】への開拓者の流れ

ニューイングランド地方へ向かうピルグリム=ファーズ

1620年、信仰の自由を求めて絶対王制下のイギリスからメイフラワー号で北アメリカに移住した、総勢102人のピューリタンたち。



The Pilgrims celebrated a harvest festival with their Native American neighbors in 1621 what we often call the first Thanksgiving. (The Foundation Press, Inc.)

16万人が罪人がオーストラリアへ



(2)現代の人口移動……先進国へ向かうながれ

①労働力の国際移動

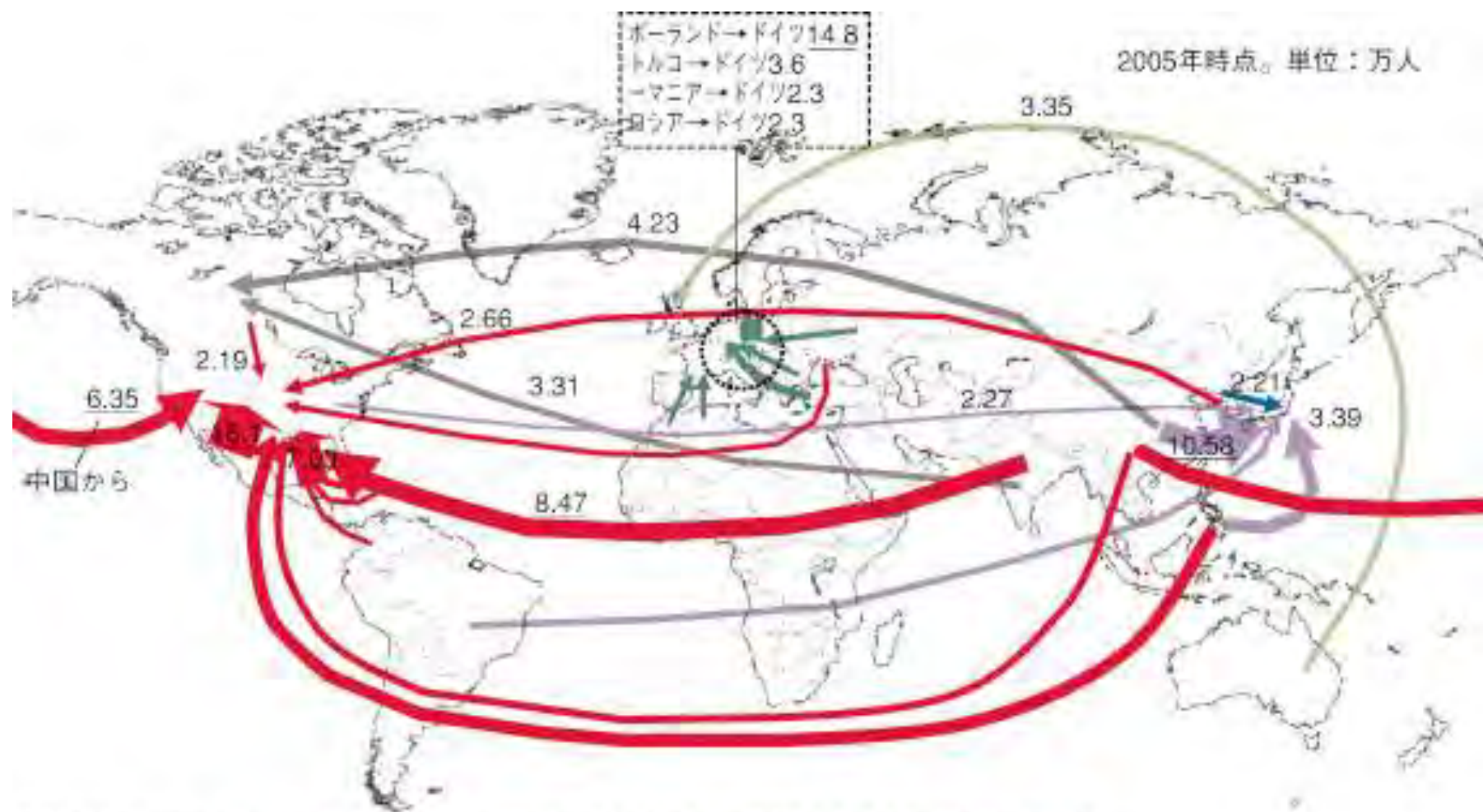
…… 発展途上国から 先進国への雇用機会を
もとめての移動

■アフリカ・東ヨーロッパ → EU諸国 へ

■ラテンアメリカ(メキシコなど)

→ アメリカ(【 ヒスパニック 】)

■東南アジア・中国 → 日本 へ



備考：日本については、有効な査証を有し90日以上滞在する者（短期滞在と再入国を除く）の人数。
資料：OECD「International Migration Statistics」。

②難民の国際移動・・・政治的自由をもとめての移動

■スーダン難民、シリア 難民、パレスチナ 難民など

→国連難民高等弁務官事務所(【 **UNHCR** 】)など
による支援

UNHCR The UN Refugee Agency 国連難民高等弁務官事務所

サイト内検索

Facebook Twitter YouTube

各国状況

・ ジュネーブ本部 ・
・ お問い合わせ ・

UNHCR

地中海を渡る難民 移民が過去最高に

プレスリリース

国連難民基金 今すぐ寄付する

最新情報

[New] [VACANCY ANNOUNCEMENT] Legal Associate, Temporary Appointment

[New] [VACANCY ANNOUNCEMENT]